

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 — 「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える—

開催地：高知県 グループ：オナガドリ班 2024.07.29

生成AIを取り巻く情報の渦

誤情報と偽情報

- 意図しているかしていないかの違いがある
- 誤情報の例
嘘だと気づかず拡散してしまう
- 偽情報の例
嘘の情報だと知ってて流す（フェイクニュース）

今までできてなかったこと

- 偽情報か気づけてない人が多い
- SNSを使っている人達が偽の情報があるのを知らない
- 自分が騙されると思ってない人が多いので偽情報が広まる

改善したほうがいいこと

- 意識を改める
- 警戒心を持つ
- 偽情報について学ぶ機会を作る
- 確定してないことを流さない

AIの活用法

- ・画像出してイメージをしやすく
(例) 文章だけだと伝わりにくい場合、画像を活用すると内容がイメージしやすい

生成AIとの付き合い方

- ネットの情報を信じすぎない
- 一つの情報元からの情報だけでなく複数のサイトからの情報なら信憑性もあると思う
- 嘘の情報かもしれないのですぐ拡散しない
- 自分で調べることが大切